

飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について (H31年3月)

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの 2018/19 (平成 29.9～31.8) 年度の需給予測

【生産量】 3億 6,629 万トﾝ (前月同予測)

【単収】 11.07 トン/ha (前月同予測)

(176.4 ブッシェル/エーカー)

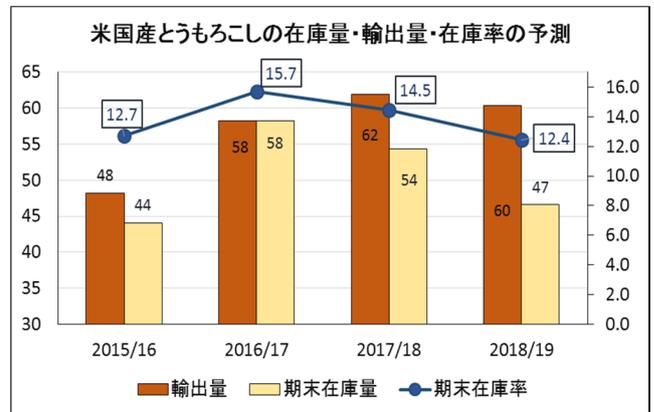
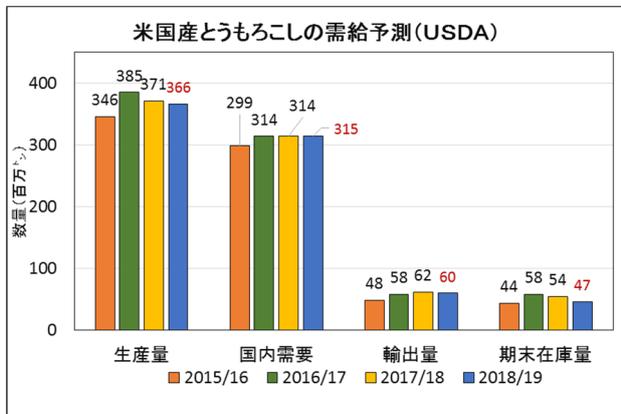
【国内需要量】 3億 1,472 万トﾝ (前月予測比: ▲64 万トﾝ)

【輸出量】 6,033 万トﾝ (前月予測比: ▲191 万トﾝ)

【期末在庫】 4,661 万トﾝ (前月予測比: +254 万トﾝ)

【期末在庫率】 12.4 % (前々月予測比: +0.76 ポイント)

(世界の期末在庫率 27.2%)



(2) 飼料穀物 (シカゴ) 相場及び為替相場の状況等

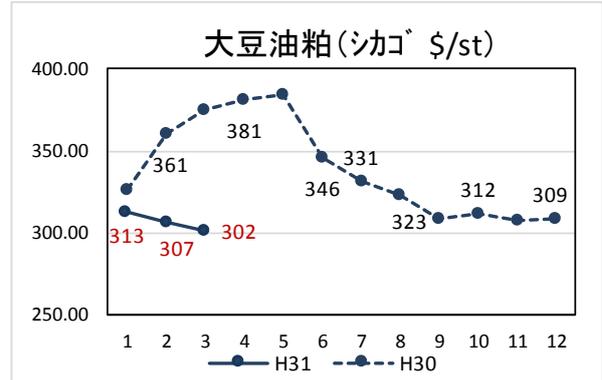
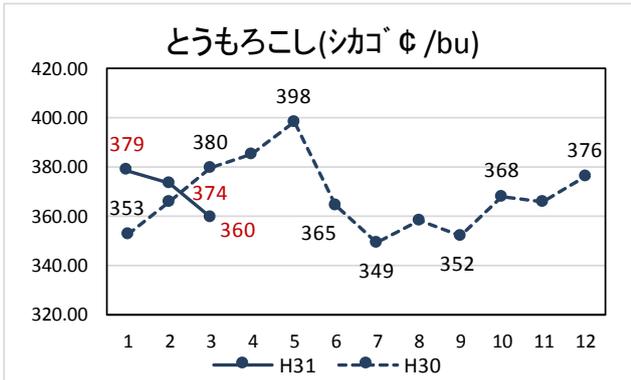
区分/月平均	11月	12月	H31.1月	2月	3月	
とうもろこし (¢/ブッシェル)	365.8	376.2	378.7	373.8	359.6	↓
大豆油粕 (ドル/トﾝ)	307.3	308.6	312.7	306.7	301.5	↓
為替相場(円/ドル)	113.0	113.1	109.5	109.7	111.1	↑
フレート (ドル/トﾝ)	50.2	50.1	46.0	38.9	44.0	↑

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(2/15)までの平均値

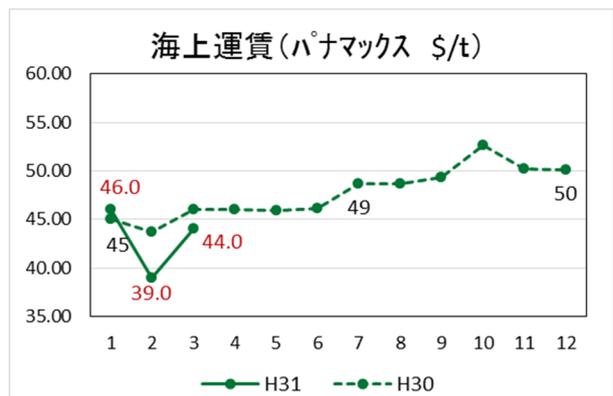
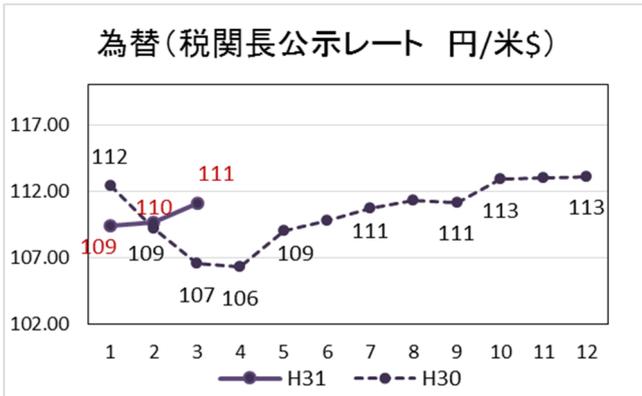
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本 (平均) 為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/ト)

